

2015 新春関東研究集会のご案内

## 子どもの問いやニーズに応じた学びのあり方

「個を育てる教師のつどい」社会科の初志をつらぬく会 平塚対話の会

### ○テーマについて

私たちは、一人一人の子どもを大切にしたいと願い、日々向き合っています。だからこそ子どもの中に生まれる問いを、そして子どもたちによる主体的な追究を大切に考え、授業や学級づくりに取り組みます。ところが今、そのような願いを形にすることが難しくなっています。その一因として、「全国学力・学習状況調査」の存在は否めないでしょう。

「いかにポイントを上げるか」「全国平均との差は」など学力テストへの対策のみが火急の課題であるがごとき論調が、目下世の中をにぎわしています。確かにそれは大切なことであるかもしれませんが、私たちは危惧を覚えずにはいられません。「学ぶ」という本来自発的な行為が、「学力」と言う名のもとにゆがめられた形で子どもたちにつきつけられてしまうのではないかと考えるからです。

このような時代だからこそ、私たちはもう一度「学び」について考えてみたいのです。「与えられる学習」から、「自ら問い、追究する学び」へ。学習材と出会い、そこにある矛盾や疑問を自分の問題としてとらえ、必要感や必然性、すなわち「ニーズ」をもって追究していく中で、子どもは学ぶ力や学ぼうとする力を身につけていくと考えます。このような学習観の転換はたやすいことではなく、ある意味気が遠くなるような歩みかもしれません。しかしこの歩みを続けることこそが、真に学力をつけることにつながっていくのではないのでしょうか。豊かな実りは簡単には得られません。簡単に得ようとする、どこかでひずみが出てしまうものです。「知識・理解」「技能」「思考」といった様々な実を子どもの中に豊かに実らせたいと願うならば、私たちは自分自身のあり方を問い直し続けることが大切でしょう。

子どもたちが自ら学ぶことに目覚め、問題を追究しようとする学びのダイナミズムを感じ取ることが願ってやまない教師でありたい。2015 新春関東集会では、その思いを皆さんと分かち合い深め合いつつ、子どもの問いやニーズに応じた学びについて、実践等を通して考えていきたいと思えます。

### ○日時

2015(平成 27)年 1月 10日(土)～11日(日)

### ○会場

ニューウェルシティ湯河原

〒413-0001 静岡県熱海市泉107 (<http://www.welcity-yugawara.co.jp/>)

TEL 0465-63-3721(代) FAX 0465-63-6401

## 【電車でのアクセス】

◆新幹線＝小田原駅または熱海駅下車（東海道線乗り継ぎ湯河原駅下車）

◆東海道線＝湯河原駅下車、駅よりタクシー（5分）、もしくは路線バスで「不動滝行」もしくは「奥湯河原行」乗車（10分 「理想郷」バス停車）

## 【自動車でのアクセス】



◆東京方面より＝東名厚木I.C→小田原厚木道路→石橋料金所→真鶴道路(国道135号)→湯河原

◆静岡方面より＝東名沼津I.C→東駿河湾環状道路・国道1号(三島方面)→国道136号→熱函道路→熱海(国道135号)→湯河原

カーナビゲーションを使用される場合は次の住所を設定してください。

「神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 359 番地」

湯河原駅より無料シャトルバスが運行されています。

乗降場所：湯河原駅バスロータリー内

### シャトルバス時間予定

湯河原駅発	10:30	11:15	12:15	13:15	14:15	15:15	16:15	17:15
ニューウェルシティ湯河原発			12:05	13:05	14:05	15:05	16:05	17:05

## ○日程

◇1月10日(土)

- 12:15～13:00 受付
- 13:00～13:30 全体会①(開会の挨拶・提案者より・諸連絡等)
- 13:45～18:00 分科会①
- 19:00～21:00 夕食
- 21:00～ 関東の仲間と語り合う会

◇1月11日(日)

- 7:30～ 8:30 朝食
- 9:00～10:15 分科会②
- 10:30～11:45 シンポジウム「子どもの問いやニーズに応じた学びのあり方」
 

コーディネーター	早稲田大学	小林宏己先生
登壇者	早稲田大学	藤井千春先生
	教育実践対話の会	中野富雄先生
	平塚対話の会	山田美保先生

11:45～12:15 全体会②(閉会の挨拶・諸連絡)

## ○分科会および実践提案者の主張

【2年国語科】

齊藤和貴先生（東京学芸大学附属小金井小学校）

「アレクサンダとぜんまいねずみ」

互いに向き合うことの難しさを感じているのではないだろうか。それでいながら、教室移動や下校の見送りの時には、われ先にと教師の手を取り、つなぎ歩く A くん。二人に閉じていたそんな関係も、二年生の後半にさしかかってきた学級には、彼の姿がはっきりと見え始め、違和感に気づき始めた。授業の中で彼の存在を際立たせ、彼の言葉を学級の中に確かなものとして位置付けること。自分で自分の言葉を大切にしてほしい。そのために教師にできることは何なのかを探りながらの実践を、みなさんとともに考えたいと思います。

【5年社会科】

中島健太郎先生（平塚市立勝原小学校）

「私たちと水産業 ～ 『みんな』で考えよう 魚の未来 ～」

本音で語る学級集団「フェア」を目指して  
平塚市は相模湾に面した漁港のある街です。近年、魚離れが叫ばれ魚食文化の衰退が危ぶまれています。それは子どもたちの食生活からも感じられます。しかし、平塚で働く漁師さんたちは魚が消費者の身近なものとなるように様々な努力をしています。中でも本単元では、Fさんの営みに触れる中で、子どもたちの魚への見方が変化し、魚の明るい未来をみつめることになりました。本時の姿からは「本音で語る」「フェア」という部分において課題が残ることとなりました。多くの先生方からご指導いただき、子どもの学びの姿から実践を見つめ、明日へつないでいきたいと思えます。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

【6年社会科】

本間宏志先生（横浜市立末吉小学校）

「長く続いた戦争と人々の暮らし」～Kさんから見る戦争

終戦から70年近く経ち、子どもたちが戦争を自分事として考えていくことは、ますます難しくなっている今、戦争を体験した方を中心とした学習を、ぜひ実現したいと考えてきました。本単元では末吉小学校校の卒業生でもあり、戦争当時6年生であったKさんを中心として子どもたちが学んでいきます。松田町での集団疎開、空襲、様々な当時の体験を子どもたちが実際にKさんに聞き、時代を肌で感じていくことを中心に単元構成をしました。そして、自分と同じ世代の人が戦時下をどんな思いで、どのように生きていたのかを知り、共感的に考えたり、自分たちとの違いについて思いを致したりすることによって、戦時下の人々の思いを実感的にとらえるようにしたいと考えました。

## ○参加申し込み

(1)参加費

- ・ 宿泊(1泊2食付・参加費含む)

一般	18,000円	学生	17,000円
----	---------	----	---------
- ・ 通い

一般	3,000円	学生	2,000円
----	--------	----	--------

「夕食まで」をご希望の場合は、別途料金をお支払いいただくこととなります。ご了承下さい。

(2)申し込み方法

下記のいずれかの方法で、お申し込みください。

① パソコンにて

☆できるだけ次のアドレスよりお申し込みください!

【平塚対話の会ホームページ】

<https://sites.google.com/site/hiratukataiwanokai>

♪「2015 新春関東研究集会申し込み」の「参加申込みフォーム」をクリックして下さい。

② 下記申込用紙に記入の上FAXにて

FAX : 0463 (22) 3017 (平塚対話の会・小室方)

(3)締め切り日

2014(平成 26)年 12 月 25 日(木)

《問い合わせ先》 山田 美保  
(平塚対話の会)

E-mail : [hiratukataiwa@gmail.com](mailto:hiratukataiwa@gmail.com)

「2015 新春関東研究集会」参加申込書

ふりがな お名前			
学校等 勤務先			
連絡先 住所	〒		
電話 (携帯)	※確実に連絡の取れるものを、ご記入下さい。		
参加費 ※該当する 所を○で囲 み、金額を記 入して下さい。	宿泊	一般	円
		学生	円
	通い	一般	円
		学生	円
参加分科会 ※どれか1つ に○を付けて 下さい。	2年「国語」 「アレクサンダとぜん まいねずみ」	5年「社会」 「私たちと水産業」	6年「社会」 「長く続いた戦争と人々 のくらし」
返信希望	あり ・ なし		

FAX : 0463 (22) 3017 (小室方)